

5X-9

コンピュータ用語による英語学習システム

川村 陽子 高田 勝久 冠谷 大 伊藤 小琴 前川 仁孝 伊與田光宏

千葉工業大学

1.はじめに

コンピュータは元来アメリカを中心として生まれたものである。その周囲には必ず英語が使われている。それらを学んでいる学生は、国内の文献・技術資料以外に英語で書かれた文献を読む必要に迫られることも多々あり、海外とのメールのやりとりや英語圏のサイトを利用する場合もある。そのため、情報工学の分野に関わっている学生は普段から英語に慣れ親しんでおく必要があると思われる。

本研究では情報系学生を対象にコンピュータ・インターネットを題材とした英語学習システムをWWW上に構築する。

2.システム提案

コンピュータ英語を扱った書籍は出てきているが、その数はまだ少ない。また、単語・例文とその訳のみで辞書的に書かれていることが多い。

本システムでは、特にインターネットに関する英語表現の学習に主眼を置く。実際に出会いそうなシチュエーションを用意し、その各々についてレッスンを組む。

また、今回はコンピュータ用語についてブラウザ上から検索が可能な用語集をファイルメーカーPro4.0で作成する。用語集の項目は以下の通りである。

- 用語の和訳
- 用語についての詳しい解説
- 略語の通常表現
- 用語の読み上げ

3.教材の内容

本システムではインターネットをある程度使い慣れてきた学生を想定してシチュエーションを設定する。例として、フリーウェアなどに付属する

一般的なマニュアルの読み方やその感想メールの書き方などを解説していく。以下にレッスンの流れを示す。

- (1)テーマに関する英文提示
- (2)英文中の用語調べ
- (3)一文ずつ訳を表示
- (4)よく出現する表現について解説

(2)は(1)に含まれる用語を数種類取り上げ、用語集を使って調べていくものである。(3)は(1)の訳を表示する。

4.実行例

本システムの画面例を図1に示す。(a)は学習を行うメインとなるフレームである。フレーム(b)には各項目へ移動するボタンを配置する。

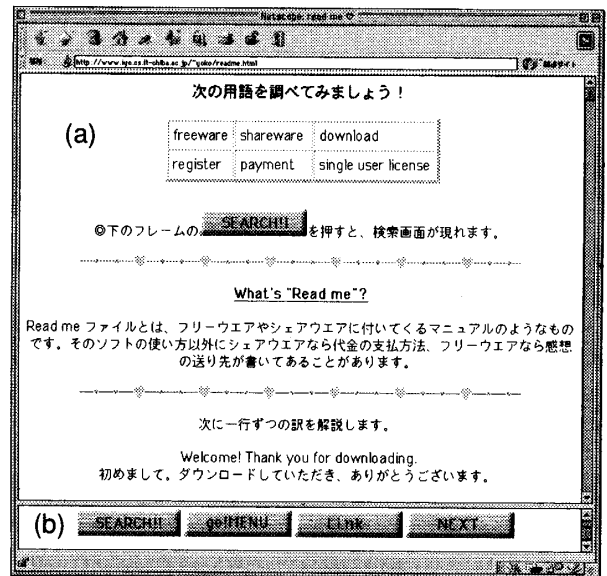


図1 画面例

5.おわりに

本研究では、コンピュータ学習者を対象とした英語学習システムの構築を行った。学習内容に実際に起こりうるシチュエーションを取り入れたことで実用性の高い学習に結びつくと期待される。

今後は録音機能のついた学習者情報を記録するデータベースを付加する予定である。

English Education System for Computer Technical Terms

Yoko KAWAMURA Katsuhisa TAKADA  
 Dai KAMURIYA Ogoto ITO  
 Yoshitaka MAEKAWA Mitsuhiro IYODA  
 Chiba Institute of Technology